

なにより暮らしと平和 2026

衆議院議員



塩川鉄也

参議院議員



いわぶち友

新年おめでとうございます。

物価高騰が続き、国民生活はますます深刻です。にもかかわらず、高市政権は、軍拡予算増額を前倒しして、自衛隊百里基地へは長射程ミサイルの配備など、戦争する国づくりを急いでいます。衆議院議員定数削減は、裏金問題の全容解明や、企業・団体献金の禁止を棚上げにし、すり替えるものです。

今年も皆さんと力を合わせて、暮らしと平和、民主主義を守る政治の実現、自民党政治を終わらせるために力を尽くします。

日本共産党衆議院議員 塩川 鉄也

参議院議員 いわぶち友

党県委員会政策委員長

高橋誠一郎



参院選では大きなご支援をいただいたことに感謝申し上げます。引き続き党県政策委員長として、全県を駆け巡る毎日です。力を合わせ希望がもてる社会へ一緒に声を上げましょう。

あけましておめでとうございます



昨年は大変お世話になり有難うございました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

日本共産党は、アンケートなどで寄せられた市民の皆様のご意見・ご要望を、市はもちろん国・県に届けその実現に皆様と力を合わせてまいりました。

行き詰る取手駅西口・桑原開発にみられるトップダウンの市政運営を改め、何より子育て・医療・介護など、市民主体のまちづくりに全力を尽くします。

引き続きご支援・ご協力をお願いします。

取手市議会議員

加増みつ子・遠山ちえ子・本田かずなり



新春のつどい

1月24日 13:30開場

14:00開会

場 所:福祉交流センター
取手市役所前

明るい取手

2026年1月1日号

日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。

発 行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-5 ☎ 0297-72-7816

Fax

7817

日本共産党

議会をリードする日本共産党12月取手市議会

暮らしと営業を守る緊急要望

日本共産党は12月取手市議会で、物価高対策の速やかな実施を要求。9日には、小中学校の給食費無償化・上下水道料金引き下げ等6項目の「物価高騰から市民の暮らし・営業を守る緊急要望書」を市長に提出。財源には国の交付金（約9.8億円）に合わせ市の各

種基金の活用を求めています。

要望書は



要望書の趣旨を述べ協議。左側奥に伊藤哲副市長、右へ遠山・加増・本田議員

「政治とカネ」・「非核三原則」・「介護保険改善」意見書

日本共産党提案全会一致で可決

- ◆ 介護保険の抜本改正と職員の大幅な処遇改善。
- ◆ 「公金還流」「裏金」等「政治とカネ」の真相解明、企業・団体献金の規制強化。
- ◆ 「非核三原則」の堅持、核兵器禁止条約への批准を求める。



日本共産党は、「物価高対策の速やかな実施」へ議会としての政策議論を呼びかけ、山野井隆議長は、市議会各会派の要望をまとめ「重点支援地方交付金の活用に対する要望」を12月15日に市長に提出。

市は16日から25日最終日迄の議会休会日も生かし、すみやかな対応が求められました。

しかし、物価高対策事業の具体化は一部に限られ、その一方で、議員報酬引き上げ案は、15日本会議で日本共産党以外の賛成で可決しました。

本田市議の
反対討論は
Youtubeで



議員報酬の引き上げが可決 日本共産党議員団は反対しました

改正議員報酬月額（単位：円）

	改正後	改正前	引上月額
議長	537,000	494,000	43,000
副議長	481,000	444,000	37,000
議員	448,000	411,000	37,000

まちづくり、皆さんと力を合わせ一歩一歩前進

遠山ちえ子



藤代小放課後子どもクラブの室内にトイレが設置されました。子どもクラブ室は建設後17年、開設直後から「クラブ室にトイレを」の保護者はじめ関係者の議会請願など運動が繰り返されてきました。私の公約でもありホッとしています。

体育館にはエアコン設置、社協に障がい者基幹相談支援センター設置。引き続き地域の要望実現に粘り強く取り組みます。



室内にトイレが設置された藤代小子どもクラブ

加増みつ子



エレベーター設置へ動き始めた井野公民館と外周道路整備済みの公民館前

私と小池悦子議員（当時）紹介の「井野公民館にエレベーター設置」を求める請願が2023年3月議会にて趣旨採択。その後26年度大規模改修に合わせエレベーター設置を繰り返し皆さんと要望。議会質問でも求めてきました。

昨年12月議会でも、市は設置方針を言明。また井野団地外周道路の改修も進んでいます。

本田かずなり



戸頭地域のふれあい道路は傷みが激しく、車が通るたびに家が揺れるという声が多く寄せられていました。23年10月の私たちの24時間交通量調査で、1日1万7千台の通行量が判明。ふれあい道路の本格的な工事はこれまでも要望。24年度からの工事区間の延伸も、県道への移管も求めてきました。今年度は工事区間を延長して進んでいます。安心して住み続けられるまちづくりの実現に今後も全力を尽くしていきます。



整備工事中の戸頭区域ふれあい道路

緊張あおる高市首相「台湾有事」答弁 対話抜きで軍拡路線の危機

国会では

「台湾有事は存立危機事態になり得る」との高市首相の国会答弁が、中国との関係を悪化させ国際的大問題に。首相答弁は、台湾海峡での米中の武力衝突を想定し、日本への攻撃がなくても米軍とともに、中国との戦争がありうるとの宣言に等しいものです。

「互いに干渉しない」「平和的な関係を発展させる」という日中

共同宣言とは明らかに食い違っており、発言はきっぱり撤回すべきです。一国の総理発言で危険をまき、際限のない軍事費拡大は、国民の暮らしを圧迫するばかりか、周辺地域の緊張をいっそう高めるものです。日本共産党は、日中両国に対し、共同宣言での合意を守り、外交努力に徹することを双方に繰り返し求めています。

過去最大の軍事費（年間11兆円に） 補正予算18.3兆円に暮らし守る柱なし

- 2025年度補正予算が16日の参院本会議で、与党、国民民主、公明など賛成多数で可決成立。3つの柱と位置付ける補正予算の骨格は
- 「物価高」対応に約8.9兆円。国民的要望の消費税減税にせず、暮らし守る柱なく一時しのぎの対策。
 - 危機管理・成長投資約6.4兆円。AI・半導体に続き特定大企業に新たな財政支援。
 - 「防衛力・外交力強化」1.7兆円等米要求前倒し過去最大の軍事費GDP比2%に。